

JR名古屋駅にバーチャルアナウンサー「沢村碧」登場！ ～新幹線改札近く大型デジタルサイネージに～

株式会社共同通信デジタル（東京都港区、代表取締役社長：細田正和）と事業パートナーとなるソニー株式会社が開発する、バーチャルアナウンサー「沢村碧（さわむら みどり）」が、10月30日（月）から11月5日（日）の7日間、愛知県とJRグループが共同で実施する大型観光キャンペーン「愛知デスティネーションキャンペーン」のPRのため名古屋駅構内の大型デジタルサイネージ「名古屋エクスプレスビジョン」に出演します。



駅構内のデジタルサイネージへ登場するのは初となります。

バーチャルアナウンサー「沢村碧（さわむら みどり）」とは

文字情報として入力された原稿を音声合成エンジンによって自然な発話に変換し、さらにCGで作成されたキャラクターの表情と連動させて情報をお伝えする「バーチャルアナウンサー」です。

アバターエージェントサービスとは

共同通信デジタルでは、同バーチャルアナウンサーを活用して情報番組を作成できるツール、「アバターエージェントサービス」を提供しています。

「アバターエージェントサービス」は、文字情報を入力するだけで簡単にCGキャラクターによる情報番組（動画・音声）を作成することができるシステムです。文字情報を入力すると、音声合成エンジンにより自動で情報を読み上げ、それと同時に表情と連動したCGキャラクターを生成することができます。

用途としては、デジタルサイネージ、テレビ、ラジオ、Web、スマホアプリなどでニュースや天気予報、インフォメーションの提供に活用することを想定しています。

本サービスでは、テキスト原稿と素材画像をご用意頂くことで、自然な発話で読み上げるCGキャラクター動画コンテンツや音声データを提供します。自社で自由にコンテンツを作成したい、リアルタイムでコンテンツを作成したいなどのご要望には、専用PCにインストールしたツールの貸出も対応します。

名古屋エクスプレスビジョンの概要

設置場所 JR名古屋駅太閤通口
仕様 55インチ18面（縦3段：約2.1m×横6列：約7.3m） 音声放映あり
放映時間 6：00～24：00

情報提供期間

平成29年10月30日（月）～11月5日（日）



放映イメージ

愛知デスティネーションキャンペーンの概要

デスティネーションキャンペーンとは、地方自治体の要請を受け、JRグループ6社、旅行会社が協力して実施する、昭和53年第1回「和歌山県～きらめく紀州路～」から続く大型観光キャンペーン。開催地を集中的にPRし、全国から鉄道を使った送客により、地域を活性化。愛知DCは、愛知万博のあった平成17年春に続いて4回目の開催。

アバターエージェントサービスサイト

<http://avataragentservice.jp/>

本プレスリリースに関する問い合わせ先

・株式会社共同通信デジタル アバターエージェントサービス担当 佐藤・荒井・竹内
TEL：03-6252-6401 E-mail：avataragent@kyodo-d.jp

共同通信デジタルについて

共同通信デジタルは、全世界の様々なニュースを配信する一般社団法人共同通信社の子会社として、ニュースサイト・サイネージ等、デジタル分野へニュース配信やシステム構築を行っています。また、ニュースを配信するだけでなく、新たなメディアの創出や、記者が良い記事を書く為の仕組み作りなど、国内、海外問わず、ニュースを核にしたサービスを提供しています。